

各 位



2021年12月2日

会 社 名 株式会社日本抵抗器製作所
代表取締役社長 木 村 準
(コード番号 6977 東証 第二部)
問合せ先 社長室 室長 木矢村 隆
TEL(0763)62-8125

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせ致します。

記

1.当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額について基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関して、2024年12月までに上場基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	1,491人	8,315単位	896,678,611円	67.0%
上場維持基準	400人	2,000単位	1,000,000,000円	25%
計画書に記載の項目	—	—	○	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2.上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針、課題及び取組み内容

(1)基本方針

当社は「抵抗器及び電子回路の製造を通じて社会に貢献する」ことを経営の基本方針とし、当社のすべての利害関係者との良好な関係を維持、発展させていきたいと考えております。今後はE S GやSDGs等の取組みをも組み入れた、持続的な成長と、中長期的な企業価値の向上の実現に向けた施策に継続的に取り組み、当社の事業活動について、IRの推進やホームページ等を通じて株主の皆様にご理解頂きますよう努めてまいります。これらを通じて、当社株式の魅力を高め上場維持基準への適合を目指してまいります。

(2)基本方針に基づく課題

当社は、電子部品の製造会社として、環境・社会・ガバナンス等を鑑みつつ、当社の事業活動を通じて、地球環境や社会に温もりある製品を提供して行くことを企業理念の一つとしております。そのために、株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様と良好な信頼関係を築きながら、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現することを最重要課題としております。

上場維持基準適合に向けて、当社はこれまで以上の業績向上が重要課題と考えており、業績向上により安定的な株価向上を目指してまいります。

(3)基本方針に基づく取り組み

企業活動における安定株主の確保や取引先との安定的な取引関係の維持、強化を図る観点から保有しております政策保有株式について、当社における第10位以内の政策保有株主の政策保有株式につきまして、当該政策保有株式の保有意義の喪失を踏まえた縮減にむけて交渉を開始いたします。

また、業績向上による株価向上と株価安定に向けて、3ケ年をめぐりとして上場維持基準適合に向けて進めてまいります。

(4)経営戦略等

当社は技術革新が著しいエレクトロニクス業界で環境変化に対応する経営戦略として、グローバル化の推進、新規事業への取り組みを軸とし、市場拡大、売上拡大を達成するために次の戦略に取り組んでおります。

- ① 中国、東南アジアへの取り組みを強化し、海外売上拡大を行います。
- ② 海外協力メーカーとの連携を図り、製品ラインナップを拡充します。
- ③ 自動車市場(xEV)、産業機器市場への新たな製品の展開を強化します。
- ④ 生産工場の省人化、ロボットの導入拡大を図りコスト競争力を高めます。
- ⑤ 自社構築した生産トレーサビリティシステムで最適ナリスク管理を提供します。

- ⑥ お客様と一緒に企画段階から係わることで付加価値の高い製品を提供します。
- ⑦ 高品質なモノづくりを維持するため、社内資格、技能認定制度を設け、社員教育にも力を入れております。
- ⑧ グループ会社の垣根がない調和のとれた企業文化を育んでいきます。

上記について 2015 年、タイに販売拠点を開設し、東南アジアへの拡販を開始いたしました。今後はタイ以外のアセアン地域への進出を検討し、販売拠点や製造拠点化を考えており、自動車市場、産業機器市場への展開を図ってまいります。アセアン市場への販売拡大により業績拡大を図ることで上場維持基準適合を目指してまいります。

(5)企業価値の向上と株価の安定化と向上

当社は電子部品の単一セグメントであります。製品群として抵抗器、ポテンショメーター、ハイブリッド IC、電子機器があり、主な用途として抵抗器は自動車用、農電機器用、住設機器用、医療機器用、家電用等があります。ポテンショメーターは主な用途として自動車用、建設機械用、農電機器用等があり、ハイブリッド IC の用途としては自動車用、空調用、電源機器用、医療機器用、家電用等があります。また電子機器においては主な用途として自動車用、空調機器用、住設機器用、農電機器用等があり、国内外の主要な自動車や電機メーカー、医療機器メーカー、農業機器メーカー等に採用され、社会生活におおきく貢献しております。

当社では、脱炭素社会への取り組みが著しい欧州、中国市場での自動車関連向け電子部品、産業機器市場向け電子部品の受注拡大に努めるとともに、国内顧客企業向けの各種製品の受注活動に努めてまいります。特に、当社の既存取引先以外の新規ユーザーへの取組を強化し、業績拡大を目指してまいります。

電子部品市場の動向としましては、PHEV、EV 車、自動運転化用電子部品、5G、AI や IoT の普及に伴い半導体、電子部品の需要は底堅く、有望な市場であります。

当社は、上記の基本方針に基づく取り組みにより、企業価値の向上、株価の安定と向上を図るとともに、これにより、当社株式の流通時価総額につきまして、株式会社東京証券取引所の定める上場維持基準を上回ることにより、東京証券取引所の新市場区分、スタンダード市場における上場を維持するよう努力してまいります。